

●トラック1

●背景:寝室(夜)

(主人公、ベッドに座っている)  
(遅れてベッドから立ち上がって玄関へ向かう)

●背景:廊下(夜)

(廊下を歩いて玄関へ)

●背景:玄関(夜)

(ドアを開けた途端、外の音が聞こえる)

はじめま——

(佐ヶ野未優(さがのみう)、主人公に気づく)

なッ！？

なんでアンタ……ッ！

(主人公「こっちの台詞ですよ！」)

ハア！？ えっ……し、指名したのアンタなの！？

最悪……平社員のくせにいちよ前に高いデリ使ってんじゃないわよ……！

冗談じゃないわ！ アンタ、写真見てわかって指名したんじゃないでしょうね！？

上司のアタシに恥かかせるためにとかぁ！

ふざけないで！ こっちからキャンセル——

(未優、情報を漏らされるとまずいと気づく)

いや……。

ちょっと待って……。

落ち着いて話合わなくちゃダメよね……。

……アンタ。絶対に誰にも言わないでよ？

アタシは別にプライベートでまで上司でいるつもりないし、アンタのお局やるつもりもないから、デリヘル使おうとしてたことも黙ってあげる。  
だから、アンタもアタシがデリで副業してたこと、ぜ〜〜〜ったいに黙ってて。

(主人公「わ、わかりました……」)

なによその頼りない返事は……。  
ハア……。信用できない。  
仕事でもルーズだし、休憩時間1分過ぎてることもある。そんなアンタだから、誰かに聞かれてぽろっと口走るなんて容易に想像つく。

……。部屋にあげなさい。  
黙秘の条件として、抜いてあげるから。  
こっちも一応仕事だし……。変にキャンセルしたら怒られるのよね。

(場面転換)

●背景:寝室(夜)

(主人公、タオルを巻いて部屋に戻ってくる)  
(未優、ベビードール姿で待機)

おかえり。ちゃんと体洗った？  
さ、ベッドに座りなさい。

足閉じて。  
アタシ跨がるから。

(主人公、足を閉じる)

腰に巻いたタオル取るわよ？

(未優、勃起したペニスを見て少しイラッとする)

……。ちっ。  
なんで上司に勃起すんのよ……。  
……。乗るわよ？ 重たいとか言わないように。

ん……っ。

これ全部、仕事のためだから。

オフィスではアタシの方が年収も仕事量も上……それを忘れないように。

あと！ いつものアタシにはぜ～～～ったいに勃起しないでよ？

……はあ。

あくまでも、お金の関係……。

目、閉じなさい。

(未優からキス)

ぷちゅ……ん、ちゅ……チュツ。

んう……ちゅ、ちょっと……口開けないの……ちゅ、ちゅ、舌絡ませていいなんて言ってない。ちゅ、んんむ、ちゅ、ちゅ……。

ちゅ……ん、ちゅう、チュツ。

ちゅ、ん、ちゅ、このまま……チンポ握るわよ？

(ペニスを握る)

んう、ちゅう、チュツ……アンタ、こんなデカいの……？

ちゅる、んん、ちゅ、頼りないし、ちゅる、チュツ、もっとしなしなで、皮もかなり被ってると思ってたわ……。

ちゅん、ちゅむ、チュツ……んん、ちゅんん、ちゅ……。

ぷちゅ、んん、チュツ……んん、ちゅ、ちゅる、んん、チュツ。

シコるわよ……。

ちゅう、んん、ちゅる、ちゅ……んんむん、ちゅる。

ぷうう、んん、チュツ……んくんん、ちゅ……ふうんん、ちゅ……。

ちゅん、ちゅ……はあ……ん、ちゅ……。

いつもデリ使うの？

(主人公「今日は……色々あったから」)

ちゅん、ちゅ、ちゅうう、ちゅ、色々あった？

ちゅ、ツ、ん、ちゅ、ああ、今日はアタシにたくさん怒られてたわね。

ちゅう、ちゅん、ちゅ、じゃあ、アンタは嫌いな上司のせいでスッキリしたかったのに、ちゅうう、チュ、その嫌いな上司にシコられてるんだ？

ちゅうんん、ちゅ、なおさら、黙ってもらわなきゃ困るわ……。

ちゅん、チュツ、ちゅる、チュツ、んむ、ちゅ。

はあ……。

んう……手はこれで十分かしら。

ちょっと待って。

口でスッキリさせるから。

んう……正直、アンタのチンポなんて啜えなくなかったけど、お金のためだもの……我慢するわ。

んむうう、ちゅるちゅるちゅる……んぷううう、チュツ。

ふう……んくんん、チュツ、ちゅツ。

んむ、ちゅ、ちゅる、ちゅ……。

仕事できないわりに、んん、ちゅる、チュツ、ナマイキにデカくしちゃって。

ちゅうう、んん、ちゅる、チュツ……ふううんん、ん、チュツ、チュツ。

さっさと射精しちゃいなさい。

ちゅる、ちゅんん、チュツ……んむんん、ちゅる、ちゅ……。

ああ、でも……んん、ちゅ、上司の命令されろくに利けない後輩には……ちゅうう、ちゅ、早くイケなんて言っても無駄よね？

ちゅるるる、ちゅんん、ちゅ、んん、チュツ。

ぷちゅんん、チュツ……んくんん、ちゅう……んん、ちゅ……。

ちゅんん、ちゅく、ちゅ……ツ、れろれろツ、ちゅ。

ちゅむう、ちゅ、気持ちよくなりたいだけなんでしょ？

れろっ、ちゅう、チュツ、ならさっさと出しちゃえばいいのに。

ちゅむう、ちゅるんん、チュツ、んくんん、ちゅる、チュツ。

んむ、ちゅう、んぷぷ、ちゅ……んくん、ちゅる、ちゅッ。

(主人公「口だけ？」)

ちゅう、ちゅ、は？ 口だけよ？

上司の胸とか触っても意味ないでしょ？

ちゅる、ちゅん、ちゅ、終わったらシャワーの介助くらいはするけど、ちゅう、チュッ、  
アンタが触るのはダメ。

ちゅん、ちゅん、ちゅる、ちゅ……。

れろれろッ、ちゅうううう、ちゅ、んむむ、ちゅ。

(主人公「出る……」)

ちゅん、ちゅ。

出そう？

なら本気出すわ。

ちゅう~~~~~ッ。

ちゅるる、チュッ！ スズズッ、ちゅく、チュッ！ んん、ちゅる、チュッ！

ふう、んくん、ちゅる、チュッ！

ずずう~~~ッ、ん、チュッ、早く出しなさい。

ちゅるん、チュッ、ザーメン出せ……ッ、ちゅる、ちゅうう、チュッ！

そのままで受け止めてあげるから。

ちゅぶぶぶうう、チュッ！

ちゅう~~~~~ッ！

(口内射精)

んぷうッ！ ンッ——んう！

けほッ！ んうんぷ……ちゅ……んううう、ん……んく、ん……。

ふう……んくん、ん……。

んぷう……ふう、ふう……ッ！

臭いわねえ……！

(未優、手のひらに精液を吐き出す)

うえええ……。

はああ……。

苦しかった……。

(主人公「飲んでくれないんですか？」)

ハア？ 飲めるわけないでしょ。

ザーメン飲む女がいると思うの？ AVの見過ぎよ。

はい。これでチャラね。

お金は安くしてあげるからちゃんと黙っておきなさいよ？

アタシがし〜〜っかりと目え光らせておくから！

=====

## ●トラック2

## ●背景:オフィス(日中)

(主人公、工作中)

(遅れて未優が近づいてくる)

これ。

今日中にやっておきなさい。

(主人公、椅子に座ったまま未優を見る)

なによ。なんか言いたいのか？

あの話のこと……蒸し返そうってんじゃないわよね？

ぜったいに誰にも言わないでよ？

告げ口したら……覚悟しておきなさいよ。

(主人公「約束は守りますってば！」)

……ふん。

そうやって口では守る守るって言う男、信用できないのよね。

これ。

契約書作ってきたの。

これを破ったら許さない。

個人情報も書いてもらうから。逃げられないように。

(主人公「言わないって言ってるじゃないですか！」)

ふん。だからなに言ったって信じないって言ってるでしょ？

行動はちゃんと成果で示しなさいよ。

ただ、アタシだって鬼じゃない。

デリのこと黙ってもらう代わりに、特別価格で出張してあげる。

お店を通さなくてもいいし……、

これ。連絡先交換するわよ？

メッセージで呼び出してもいい。

こないだよりいいプレイしてあげる。

どう？ いい条件でしょ？

ちゃんと守りなさいよね。

じゃあ、ちゃんと仕事しなさいよ？

---

### ●トラック3

### ●背景:オフィス(日中)

(トラック2の続き。主人公、仕事中)

(遅れて未優が近づいてくる)

こら！ 手が止まってる！

まったく……たるんでるんじゃないの？

……ハア。

集中できないならトイレに来なさい。

命令よ。

少しでも休憩あげる。だらだら仕事するくらいなら少しサボりなさい。

(場面移動)

●背景:トイレ(日中)

(主人公、女子トイレに入ると未優がいる)

鍵閉めておいて。

こっちきなさいよ。

抜いてあげるから大人しくしてなさい。

浸ってる時間ないわよ。

アンタが仕事に身い入らなさそうだからいけないのよ。

ふう……オフィスで勃起するなって言ったでしょ……。

ほんと、ダメな男。

……シコるわよ？

はあ……う、アタシが特別価格で抜いてあげるって言ったから、

変に期待して悶々してたんでしょ？

わかるわよ？

ムラムラする気持ちは。

でも公私の切り替えぐらいできなきゃ、このオフィスじゃ足手まとい。真面目に働かないで勃起するだけ……そんな男がみんなと同じ給料貰えるほど甘くないの。

ふう……さっさと出すわよ。

耳舐めるから、発情しなさい。

(耳舐め開始)

れろれろれろ……ちゅうう、ちゅく、んちゅ。

んむむ、ちゅ……れろれろれろお、んぷぷ、チュツ……んくん、ちゅ……

れろれろ、ちゅツ、ピンピンじゃないの。

ちゅう、チュツ、チンポだけは有能なの？

ちゅう、チュツ、んむ、ちゅ、誰かの役に立つチンポでもないくせに……ちゅうう、チュツ、ほんと、無駄なフル勃起。

ちゅうう、ん、ちゅる、ちゅ……。

れろ、ちゅうん、チュツ……れろれろ、んぷぷ、ちゅ……んん、ちゅツ。

気持ちよさそうな吐息漏れすぎ。

大きい声出さないでよ？

ちゅん、ちゅ、んむうう、チュツ、んん、ちゅ……うんん、ちゅ……ツ。

れろれろ、んくん、ちゅ……ツ、んんむん、ちゅ……。

それと我慢するのもナシ。

ちゅう、チュツ、さっさとイッて、ちゅる、チュツ、

満足しちゃってよ。

ちゅる、ちゅ……んむんん、ちゅ、んん、ちゅく、チュツ。

れろれろ……ちゅう、チュツ、ずず、んん、ちゅ……ん、ちゅ……ツ。

それに……汚い汁出し過ぎなのよ。

ちゅう、んちゅ、アタシはザーメン出せって言ってんのに。

ちゅる、ちゅ……んん、チュツ……れろれろツ、チュツ、チュツ、我慢汁はいらないから、

ちゅう、ちゅつ、さっさとムラムラ高めて……ん、ちゅ、アタシの手に出しちゃいなさい。

(主人公「また手？」)

ちゅう、ちゅ、ハア？

手でいいでしょ。ちゅんん、ちゅ、アンタ、ほかのどこに出したいなんて言わないでしょう

ね？ ちゅんん、ちゅツ……ちゅん、ちゅる、ちゅうツ。

はああ……。

スカートにかけたら殺す。

チンポ噛む。

いい？

れろれろれろれろれろ……ツ、ちゅんん、チュツ。

れろ……ちゅくんん、ちゅっ、んむん、ちゅ……。  
ふうう、んくん、ちゅ……れろれろ、ん、ちゅちゅ……ツツ。

手で受け止めてあげるだけ感謝しなさいよ。  
ちゅう、ちゅ、アンタのザーメンなんて、便所に流すのがお似合いなんだから。  
ちゅる……んぷぷ、ちゅ……れろれろれろ……ちゅうん、チュツ。  
んんむ、ちゅう、ちゅ、もう十分よね。

さっさとイカせちゃうわよ。  
ちゅるるる、んん、ちゅう、チュツ、れろれろれろ。  
ん、チュツ……ん、れろ、れろ……ちゅくん、ちゅ……。

ああ～……ん、チュツ、チンポ熱すぎなのよね。  
ちゅる、ちゅん、チュツ、先輩相手にこんな熱くして……なに考えてるの？  
ちゅん、ちゅ、ちゅう、ちゅん、ちゅる、チュツ。

これはあくまでも契約関係。  
れろれろッ、ちゅん、ちゅ、アタシはアンタと付き合うことも、  
セフレになることもい～～～～っさい考えてない。  
ほら、さっさと出せ。

ちゅるるる、チュツ。  
出せ出せ出せ出せ出せ……ッ！

(太ももへぶっかけ射精)

ひゃあ！  
バカ……ッ！  
ぶっかけていいって言っていないじゃないの……ッ！

んもお……ッ！  
パンストびしょ濡れ……ッ！

ハア……アンタってほんとダメな男ね。  
命令されたこともろくにできないなんて……。  
はあ……まあいいわ。  
アンタにはなにも期待しない。

ほら、これでスッキリしたでしょ？  
仕事に全力出してください。

=====

●トラック4

●背景:寝室(夜)

(トラック3の別の日)  
(主人公の部屋に未優がやってきた)  
(未優、コート姿で下はベビードール(ローター仕込み))

さて、ご指名ありがと。  
ほんとにアタシを指名するとは思ってなかった。  
アンタ、アタシのこと嫌いそうなのにね。  
さっそくだけど……コレ。

アンタに渡すもの。  
これ……。

(弁当を取り出す)

お弁当作ってきたの。  
受けとりなさい。

(主人公、弁当を受け取る)

言っとくけどコンビニ弁当じゃないわよ。ほんとにアタシが手作りしたの。冷凍食品も使わずに。  
アンタろくな食事してなさそうだったし……上司としてはちゃんとした仕事をするためにも、栄養はとりなさいって思うわけ。

温めればいいから、それはあとで。  
テーブルに置いておきなさい。

先にスッキリしちゃいましょう。  
今日はね、結構やる気よ？  
見なさい？

コートの下はベビードールなの。  
ブラもつけてないし……

見て？ これ、ローター。ローター入ってるの。  
アンタ相手じゃ濡れないから、セルフで興奮して……少しでもノリ気にできるようにって  
ね。言っておくけど深い意味はないわよ。  
さて、ベッドに座りなさい。

今日はこのデカイ胸を使ってシコる日よ。  
ふう……どんな男でもチンポを刺激すればイチコロ。  
チンポさえスッキリさせちゃえば女に逆らえないのよ。  
脱がすわよ？  
……ん……と。

なによこの勃起は。  
アンタってほんと性欲強いのね？

ふう……ん……。  
男は黙って、アタシに搾られればいいのよ。  
挟むわよ？ この先輩に欲情するダメチンポ。

(谷間に挟む)

んうう……。  
ふう……硬さだけは、んん、誰よりも硬いのよね……。

そこだけが長所なのかしら？  
ま、その長所を持ち上げてあげるのがいい上司よね。

んふう……んん、んく、ん……ン……ふう、ん……。  
ん……ん……ン……。  
アンタ如き、んん、ふう、ん……ッ、ん……アタシの胸でイチコロよ。

んふう……んん、ん……はあ、はあ……っ。

言っとくけど、これ喘ぎ声じゃないから。

ん……んん、ん、んう、喘ぎ声だったとしても、ローターのせいであって、  
ん、んく、このチンポはいっさい関係なし。

(主人公「違うんですか？」)

んうう、ん……ハア？ 本気にしてたの？

ふう、んん、ん、パイズリで喘ぐわけないでしょ？

んん、んう、んツ……アンタだって、んん、ンツ、胸元になにか擦れるの、気持ちいいと思  
う？ それと同じよ。

ん、ンツ、ん、なんで女だけ谷間で感じると思うのよ。

ん、ん、あり得ないでしょ？

んん、んふう……んく、ん……ん……。

大体喘ぎたいのはあっ——

そっちでしょ……っ？

んうう、んくん、ンンう、ふう、んん、ん……ツ。

ふう、ふう……んん、んく、んう、ん……ツ。

さっさと出しなさい……。

はあ、はあ……んん、んくん、ん……ツ。

んう……んうう、ん……ツ、ふう、ん、ん……お弁当も冷めちゃうわよ？

んう……んう、ん……ツ。

(主人公「できたらもっと媚びてください……」)

んう、んう、ハア？ 媚びろお？

んん、んう、アンタに？ なんでアタシが媚びなきゃいけないのよ。

んう、ん……ふう……ん、ん、媚びたら早く射精してくれるの？

んう、ん……ん、んくん……ツ。

まあ、いいわ……。

はあ……んん、んっ、じゃあ——チンポ、舐めていい？

(主人公「えッ！？」)

んう、ん、な、なによその反応……。  
んふうう、ん、ンツ、媚びろっていうから、提案しただけよ？  
んう、ん、どうなの？ 舐めていいの？ ダメなの？ どっちよ。  
くうん、ん……ふんんう、ん、んう、ん。

(主人公「お願いします……」)

んう、いいのね？  
じゃあ、舐めるわよ。

(ここからパイズリフェラに)

んむうう、チュツ……ちゅく、んん、ちゅ、ズズズツ。  
んちゅ……ちゅう、ちゅんん、ちゅ……ふうう、んく、チュツ。

どう？ 亀頭に媚びてあげてるわよ？  
ちゅう、チュツ、ちゅるんん、ちゅ……ふうう、んん、チュツ。  
んん、ちゅ、チュツ、ついでに……言葉でも媚びてあげる。  
媚びだから、今日言う言葉、全部建前だから……勘違いしないで？  
ちゅう、ちゅ。

ちゅる、ちゅん、ちゅ……アンタのチンポ、  
んんむ、ちゅう、チュツ、こないだトイレでシコった時から、ちゅう、ちゅ、入れたいと思って  
たのよね。

ちゅう、ちゅ、硬いし、デカいし……ちゅる、ちゅ……ツ、絶対子宮にあたって、雌のフェロ  
モン、おりてくる……♥  
ちゅうう、チュツ、あ、嘘だからね？ ちゅるるる、嘘。ちゅ、ちゅんん、チュツ、キモい勘違い  
やめて。

ちゅるっ、んんん、チュツ……んぷんん、チュツ。  
ふう……んく、ちゅうう、チュツ。  
おっきい……。  
はあ、んんむ、んん、ちゅる、ちゅ……アツ、んん、ちゅ……ん、チュツ。

んんむ、ちゅ、チュツ、デリだから、挿入NGなんだけど……ちゅるる、チュツ……このチンポだったら、ぶち込みOKかも。

ちゅるん、チュツ……んぷん、チュツ……れろれろツ、ちゅん、ちゅ。

(主人公「ああ……っ、ムラムラしてきた」)

ちゅう、チュツ、ふいふ……。

媚びただけでムラムラするの？

ちゅるる、んむう、ちゅ……ん、チュツ。

気に食わないけど……ん、チュツ、ちゅっ、まあいいわ。

ちゅう、ちゅる、ちゅうツ。

さっさとスッキリさせてあげる。

ちゅるるる、んん、チュツ……んむ、ちゅ、早く出しちゃいなさい？

れろれろれろれろれろ……ツ、ちゅん、チュツ。

んぷ……ちゅる、チュツ……んむう、チュツ、チュツ。

出していいわよ。

ちゅる、チュツ、ん、チュツ、ううん、欲しい。

ちゅっ、ザーメン、飲ませなさい。

ちゅるっ、ちゅう、チュツ、ほら、んんむ、チュツ、ちゅうううツ。

いますぐにツ、ちゅう、ザーメン出して……ツ。

ちゅう~~~~~ツツ！

(口内射精)

んぷっ！

んうう！ けふツんうう、ん！

ふう、ふう……んううう、んぷ……つけほ、んんう、ん……。

はあ……大量……。

んぷッ、んう、ん……ふう、ふう……ツ。

ぷひゅ……んう、ん……。

見てなさい……？

このザーメンはね——

ごくう……ごく……んっ……ごく……。

ふはあ！ はあ、はあ……。

どう？ ザーメンが美味しくて、つい飲んじゃったわ。

ふう……もちろん、いまのも媚びよ？ 間違えないで。

さて、このままどうしようかしら？

ご飯食べる？

---

## ●トラック5

### ●背景:寝室(夜)

(トラック4の続き)

ふう……。

なにボーッとしてるのよ。

てかまだ勃起してるじゃない。

(主人公「挿入はNG？」)

(未優、拒否してるけど内心は欲しいと思ってる)

は？ そ、挿入？

ダメに決まってるでしょ？

もう忘れたの？ 媚びてるだけ！ さっきのは本音じゃない！

バカにもわかりやすく何度でも言うけど、本音じゃないの！

(主人公「でも濡れてません？」)

ハア！？ ふざけないで。誰が濡れてるのよ！

ったく……女をなんだと思ってるんだか……。

……どうしよう。

ん～……仕方ないわね。

少しだけよ？

(主人公「先輩も欲しかったんですね」)

ちーがーう！

アタシは欲しかったわけじゃない。

アンタが物欲しそうにしてるから、仕方なく受け入れてあげるだけ。

……ちょっと待って。

(未優、パンツに仕込んでいたローターのリモコンを取る)

いまローター外す。

これでオッケー。

ん……ン……。

はあ……。

ぐしょぐしょ……。

さて。

バックでいい？

あ、ひとつ注意事項ね。

ぜ~~~~~ったいに外で出なさいよ？

(主人公「ゴムは？」)

は？ ゴムなんてあるわけじゃない。

なんでアンタの家に来るのにゴム持ってくるのよ。

こっち来なさい。

(縁に座っていた主人公、未優の方を向く)

バックで突きなさい。

ほんとうに……誰にも言わないでよ？

(主人公、バックの体勢に)

ん……ツ、ったく……んう、上司相手に、どんだけビンビンなのよ……。

ふう、ふう……んう、早く入れなさいよ……。

んうあああああ……ツツ。

(根元まで挿入)

ンンンツ！ はあっ、あ、ああ……。  
んうう、ん……ツ、少しは、いいじゃない……。  
ん、ンツ、まだまだ、だけどね……。

んあッ！ あッ、あッ！  
アンタねえ！ いきなり激しすぎるのよッ！  
アッ、んうう！ あ、ああッ！ はあ、はあッ！ んうう、んく、ンツ！  
もおおお……ツ！

力でイカせようだなんて、卑怯よ……ツ！  
んんう、ん、うううツ、ん、んううツ！  
アアッ、強引すぎいッ！ アアアアッ、ん、んううツツ！

(主人公「先輩」)

んう、んツ、な、なによっ？

(主人公「媚びは？」)

ハア？ こ、媚び？  
はあっ、はあ、まだ必要なの？  
はあっ、ん、んう、んもお……わかったわよ……ツ！

はあっ、ん、んう、はあ、んう。  
気持ちいい……っ！  
アンタのチンポ、んん、んツ、ローターで濡れたおまんこに、ちょうどいい……ツ。

ああっ、んん、ンツ、本音じゃない、本音じゃない……ツ！  
んううう、ん、勘違い、ほんとにやめてよ……ツ！  
んう、はあ、はあ……んくん、んツ！

アアアッ、うんん、んくん、ん……ふく、ううう、んツ！

はあ、はあ……んくん、んツ！

はあ、はあツ、んくん、んう、んツツ！

アタシツ、んん、んっ、セックス好きなのよね……ツ！

んん、ツ、ん、経験は全然、だけどっ、んん、ンツ、初めてできた彼氏との、んう、んツ、忙しか  
ったけど、ん、ンツ、あの気持ちよかった時間、忘れられなくて……ツ！

ふう、ふう、んん、ンツ、ん、んうツ。

それ、満たしてくれてる分には、んう、んツ、まあ、感謝するわ……っ。

んふう、んんん、んうん、ンツツ。

はあ、はあ……んんく、んう、ンツ、んう、だから、  
せいぜい最後まで楽しませなさい？

んんう、ンツ、んんう、せっかく挿入許可して、  
んん、ん、セフレ作ったことも、客とヤったこともないアタシが、  
ん、ツ、ん、挿入、許可してあげたんだから……　っ。

アツ、んん、んくん、ん……ツ。

んんくん、ん、ふうんん、ん……んんう、ん……ツ。

ああっ……気持ちいい……っ。

はあっ、ん、んう……んうう、ん……ツ。

ああっ、んく、ん……ツ。

(主人公「ガン突きしていいですか？」)

んう、んツ、ガン突き？

そんなイカせたいの？

はあっ、ん、んう、いいけどっ、出す時はそ——

んう~~~~~ツ！

ああああッ！　んうう、んくん、ンツツ！

あああッ——あう、ん、んううツ！

ちょっと！　アタシがしゃべってんでしょッ！

はあ、はあッ、んくう～ッ、んううッ！

ああああッ！

んくう～ッ、んん、んッ！ ああッ、んくう～ッ、んう！

ふう！ ふう！ んうう、んッッ！

アアッ、もう我慢できない……ッ！

イクッ、ああああ……イツちゃう……ッ！

ああああああ……ッッ！

(未優のみ絶頂)

あああああッ！

はあッ、はああッ、ごめんう……ッ！

体勢、保てなくて、崩れた……ッ。

はあ、はあッ、んん、ん……ッ。

(主人公、寝バックで挿入)

んぎiiiiiiiッッ！

あああああああッ！

あ、アンタッ！

寝バックはやめて……ッ！ ダメダメダメッ！

こ、これ全然感度違うッ！

んう～～ッ！

ああああッ！ んううう、んあッ、あああッッ！

ああッ！ これエグいのよお！

ああん！ バカッ！ バカあッ！

はあッ、はあッ、はあッ、んう～～ッ！

あんんう、んくう、ンッ！

気持ちいいわよお！ 気持ちいいけどッ、こんな無理やりじゃ、

喘ぎたいなんて思いたくもないッ！

(主人公「出るッ」)

はあ、はあっ、んん、ンツツ！  
で、出るのッ？ ダメよ！ 絶対外に出さなきゃ！

はあッ、はあッ、んうう、ンツ！  
ああっ、アッ！ んう、あああああッ！  
ダメダメダメッ！ ああっ、アタシはイクけどッ、んううッ！  
アンタはッ、はあっ、ンああッ、お尻にぶっかけてええッツ！

ああ〜〜〜ッ！  
いぐううううッ！  
イツちゃうう〜〜〜〜〜〜〜ッツ！

(同時絶頂(中出し))

ンうううううううッ！  
ああっ、あれッ！？

出してる！？  
はあっ、ンツ、バカ……ッ！  
このッ、クズ……ッ！

もお……ッ！  
アッ！ う、んうう……ッ！

このッ、ダメ社員……ッ！  
はあっ、はあ……ッ、んうう、ん……ッ。  
初めての中出し……なんてアンタなのよお……。  
んうう、ん……ッ、はあ……んく、ん……。

アッ、ああ……ッ。  
アンタの精子じゃ絶対妊娠しないと思いたいけど……んん、んう、デキた時はちゃんと責任取りなさいよ？

んう……ううん、ンツ……。  
まあ、でも……生を許可したアタシの不注意も、同罪ね……。  
はああああ……最悪……。

でも……んう、んん、  
セックスとチンポだけは……まあまあ、よかったわ……。

=====

## ●トラック6

### ●背景:寝室(夜)

(主人公、ベッドに寝ている)  
(主人公、身を起こすも予定ない訪問なので無視)  
(遅れてベッドから立ち上がって玄関へ向かう)

### ●背景:廊下(夜)

(廊下を歩いて玄関へ)

### ●背景:玄関(夜)

ハア、やっと出た……。  
アンタねえ！ どうしてアタシを指名しないの！？  
聞いたわよ！  
アンタ別の子指名したでしょ！？

(主人公「なんで知ってるんですか！？」)

知ってるわよそれくらい！  
で、どうだった？ その子のテクは。  
口とか手以外にはなにも求めてないでしょうね？ 挿入とか。  
その子ね、業界で唯一の友達なのよ。

今日珍しくシモの話になって……こないだ指名された男がチンポの大きい人って聞いて、  
特徴が似てるなって思ったのよ……そしたら案の定……アンタってわけで……！  
ほんと、友達が相手じゃなかったら気づかなかった。

(主人公「別に誰指名してもいいじゃないですか」)

……ハア？

たしかにアンタが別の誰かを指名してもアタシには関係ない。

でも、アタシとヤツたのよ？

生で、しかも中出ししといて……その後は一度も会わずにもう別の女？ 別の女とも生でやれると思ったの？

ふざけないでくれる？

はあああああ。

上司としてそんな倫理観を許しとくわけにはいかない。

部屋にあげなさい。

アンタなんかここで十分。

今日はお金いらない。

その代わり、好きにやらせなさい。

(未優からキス)

んむくうッ！ ちゅうう、チュッ！ んう、チュッ！

ちゅんん、チュッ！ ふう、んん、ちゅくんん、チュッ！

はあ……。

やだ……糸引いちゃった……じゅるるる。

んう……ちょっと待ってなさい。

後悔させてあげるわよ。

(バイブを取り出す)

これこれ。

こーれ。バイブ。

アンタの目の前でアタシはコイツにイカされるの。

見なさいよ。

コートの下は今日もベビードール……気合い入れてきてんの。

今日はノーブラノーパンよ。

ここで――

(バイブを挿入)

んはああ……♥

アンタのチンポより、全然いいわよ、これ……。

んうう……ッ！

ふう、んん、っ、んん、んく、ん……っ！

するわよ？ まずはアタシ自身への乳首責め。

全裸で……見せつけてあげる。

(未優、自身の胸を揉む)

んはあ……んツ♥ んん、アツ、あつ。

アンタには触らせてあげない。

んん、ンツ、別の女の味を知ろうとするような男には……んん、オナニーするくらいでちょうどいいのよ。

ふう、んん、んう……ああ、気持ちいい。

ん、んくん、ん……アンタのチンポよりもだいぶいい……♥

ふんんくん、ん……んツ、ん、んう……ん……。

はあ、んくん、んう……ん、ん……。

どう？

はあ、はあ……んう、ンツ、んうう、気持ちいい♥ 気持ちいい♥

ああッ、んん、はあ、は……う、ん、言っとくけど、あの子よりアタシの方が、

んん、ンツ、敏感だし、感度いいわよ？

んん、アンタは間違ったわね。

ちゃんと指名しておけば、んん、んう、アタシが今後もやらせてあげるかもしれなかったのに。

んくう、んう、はあッ、んくん、ん……はあ、は……んん、んう。

このおまんこに入るのは……アンタのチンポだったかもしれないのに。

れろれろれろおんん、ちゅ……ああ、んく、ちゅんん、チュツ。

れろ……んんくん、ちゅる、ちゅんん、ちゅツ。

ふう……んん、ちゅん、チュツ……。  
あ～……はあ、んん、んくん、ンツ……欲しかったなあ。  
んんむちゅ、んん、チュツ……れろれろ、んん、チュツ。  
アンタのチンポ。

ちゅる、んん、ちゅ、アンタに呼び出されて、はあっ、ん、  
今日こそおまんこ、かき混ぜられるかもって想像して、だいぶムラムラ溜めておいてあげ  
たのに……んんむう、ちゅ、はあっ、ん、チュツ。

ああッ、ん、そういうところが、アンタの悪いところよね。  
んん、ちゅ、ん、チュツ、仕事ができないのは……アンタの性格が問題ってわけ。  
ちゅんん、ちゅツはあ、んう、ん……ああッ。

欲しい欲しい欲しい……。  
アンタのチンポ欲しい……。  
んう、でも……んんむ、ちゅうう、チュツ、バイブにイカされちゃうわ……。  
ああああ……イクイクイク……ツ。  
んう～～～～……ツ。

#### (1回目の絶頂)

ううううッ！  
はあっ、はあ……ツ。  
ふふ、んん、ちゅん、ちゅ……あ～……ん、ちゅ、アンタのチンポ以外でイカされちゃったわ  
よ～？

んんむ、ちゅ、どう？ アタシは入れる気マンマンだったのに。  
ちゅう、チュツ、はあ、んん、チュツ、前にヤッて以降、  
アンタとやるためにゴムまで用意してたのに……ちゅううう、チュツ、アンタがほかの女の  
味を知りたいがために……ちゅうう、チュツ、ちゅ、抱ける機会、台無しにした。

ちゅう、ちゅん、ちゅ……ツ。  
れろれろッ、ちゅん、ちゅ、次からは中出しOKって言おうとしたんだけどねえ～。  
んむう、チュツ、ちゅる、チュツ、何回でも中出ししていいって、言おうとしてたんだけど  
……んむうう、チュツ、ふふふ。

(主人公「し、したいです」)

ちゅう、チュツ、ハア？

アンタがしたいかどうかはもう関係ない。

ちゅう、チュツ……れろれろツ、チュツ、いまさら好き勝手な意見、聞かと思う？

んむん、チュツ……れろっ、ちゅん、ちゅ……ツ。

んぷうん、ちゅ……れろれろれろ……ん、チュツ。

ペースあげちゃおっと。

んううううツ！

はあ、はあ……っ。

ンうううツ。

ちゅ……はあ、はあ……んくん、ちゅ……ツ、どう？ んうう、ちゅ、アンタの時より、だいぶ火照ってきてる……ツ♥

ん、ちゅん、チュツ、アンタのチンポよりも断然、いいところに当たる……ツ♥

はあっ、はあ……んうう、あ、ツ、ああツツ。

あああツ、ん、く、んうう……ツ。

またイク……ツツ！

(2回目の絶頂)

うう………ツツ！

はあっ、はあっ、んむう、ちゅ、ちゅうう。

ぷはあ！

入れたいでしょ？

んうう、あ、ああツ、こんなにおまんことろとろにい……♥

んくうう、ん、んうう、んツツ♥

はあ、はあ……んん、んんくん、あああツツ♥

入れたいなら素直に懇願しなさい……っ♥

懇願して、はあっ、はあ……っ、謝罪をしなさい……♥

んううう、アツ、ああっ、はあ、はあ……んんく、んうう。

はああ……ああツ♥

(主人公「ごめんなさい」)

んうう、はあっ、はあっ。

ふふ、ちゃんと謝れたわね？ んう、ん……ツ、でも、謝るだけじゃないでしょ？

おまんこは自分から欲しがりなさい？

んうう、アツ、ああ……はあ、はあ……ツ。

んう、ん、はあ、はあ……く、んうんん、ん……ツ。

ああああ……んん、はあっ、早く、入れたいって言いなさいよ……ツ。

ンンンっ、ああっ、イク……っ。

んううう……ツ、アアツ、イク、イクうう……ツツ！

(3回目の絶頂)

んうあああああッ！

アツ、ああああ……これやばいかもやばいかもおおッ！

あうッ！ んううう、はあっ、はあっ！

抜くわよ……ツ？

(バイブを抜く)

んうううううううう……ツ！

(潮吹き)

アアアアアアアアッ！

んふうんうああッ！

ああああッ、はあ、はあ……んんくんんうツツ！

はあっ、はあ……ツ！

んんくんん、んうんん……ツ、ああ……んくんん、ん……ツ。

もお……上司が潮噴いたんだから、んんツ、ん……もっと気い遣いなさいよ……ツ。

はあっ、はあ……んうう、それに、全然欲しがらないし……。

んう、んもお……はあ、はあ……ツ。

こっちだって……プライドあるんだから……。

=====  
●トラック7

●背景:玄関(夜)

(トラック6の続き)

はあ、はあ……バイブは、もういない……っ。  
んう、ん……それよりもチンポよ……。  
チンポ出しなさい……ッ！  
あら……パンツごと脱げちゃった。  
スンスンスン。  
こんなムレムレにしてるくせに……欲しがらないなんて強がりやめなさい。後輩は後輩らしく、先輩に甘えればいいのよ。

ほら！ 床に寝なさい！

(主人公「こ、ここで？」)

そうよ？ 文句ある？ ここで寝転がるの！

(主人公、フローリングに寝転がる)

それでいいのよ……♥

アンタ、媚びる女が好きなんでしょ？  
なら媚びてあげる。  
今日は特別に……タダでやらせてあげる♥

んふはあああ……♥

(根元まで挿入)

んくう、ん……んう、こんなパンパンになってるくせに……、

欲しがらないとか、傲慢がすぎるわよ？  
アタシがちゃんと、正しい使い方をしてあげる。

んう〜〜〜ツ！  
はあっ、はあっ、んん、ンツ、はあっ、んううツツ！

んちゅうう！ チュツ！ あああツ、ん、ちゅっ！  
気持ちいいツ、んんむ、チュツんん、チュツ、ちゅ……ツツ。

最高のチンポ……んうう、チュツ！  
アタシが、恋人以外に欲しいと思った、ちゅう、チュツ、唯一のチンポ。  
んんむ、チュツ、ちゅっ、責任取って、ちゅうう、チュツ、  
毎日でも、アタシを欲しがりなさい。

ちゅん、ちゅ……んむむ、チュツ、ちゅううつ、ちゅツ。  
ふうん、ちゅ……はあ、はあ……んくん、ちゅる、チュツ。  
ああツ、そんなところまで、ノックできるなんて……っ。

あんうう、んく、ん……ふう、ふう……んん、ん……ツ。  
はあ、はあ……んくん、ん……ツ。

アタシ、はあ、んん、ンツ、この、仕事人間のアタシが、  
最近、ず〜〜っとこのチンポしか考えられない……ツ。  
んむう、ちゅ、ちゅツ、チュツ。

真面目に働いてる時も、んくん、ンツツ！  
会議中もお、んん、このチンポ思い出して、んん、ンツ、マン汁どろどろ溢れさせてたのよ  
お？ ちゅううううツ。

はあああッ！ はあ、はアツ。  
んう、ンツ、はあっ、んん、あああ……ツ♥  
もう我慢させないで……ツ！

ああああ……ツ！  
んうう、はあっ、はあ……ツ！  
教えておくれどツ、バイブとチンポ、全然違うから！  
んううツ、はあっ、はあッ！

男がおまんこに入りたいのと同じようにさッ、  
女だって、んう、ンツ、相性のいいチンポでイクのっ、すっっごく好きなのよお！

んうあああッ、アアッ！  
イクイクイク……ッ！  
あああッ、んうう、ンツ！  
アタシ、もうイクわよおッ！

(主人公「俺も……ッ」)

はあッ、はあッ！  
ええッ、出しなさいッ！  
アンタも一緒にイクのよっ！

ああああああッ！  
んう～～ッ、イクッ！  
アタシもいぐうううううッ！

(同時絶頂(中出し1回目))

ンくうんううう……ッッ！  
あッッ——あああッッ♥  
はあッ、はあ……んくん、ん……ッ、2回目の、中出し……ッ♥

膣の中が潤ってるう……ッ♥  
これが仕事疲れを、癒すのよ……ッ♥  
ああッ、はあ、はあ、んうう、ンツ、セクハラオヤジ達に耐えて、やっと昇進して、んう、そんな  
ストレスを、解消できるのは……ッ、男をイカせた時と、この……ッ、中出しの快感ぐらい  
……♥

(主人公「副業はお金じゃないんですか？」)

はあ、はあ……んう？  
ええ……お金のためじゃない……アタシ、男を喘がせるの好きなの。

彼氏、過去に一人しかいなかったけど……んう、その性欲満たすために始めて、んう、気づ

いたら、イカせるの好きになってた。

ふふふ、んう、いまは、この中出しセックスに夢中。

はあ、はあ……もう一回、やらせなさい……♥

ンううううううッ！

あああッ！ あっ、はあっ、ん、んう〜〜〜ッ！

ほらあっ、手え貸しなさいッ！

胸を揉むのよッ！

(主人公、乳揉み)

ンう〜〜〜〜……ッ！

あああッ、んんくん、ンッ、はあ、はあっ、んん、んんくん、んッッ！

もっと強く揉んでえッ。

アアアッ、はあっ、んん、んく、んうッ！

あああッ、気持ちいいッ、んうう、ンッ♥

これからはっ、ん、ンッ、ああっ、アンタは、アタシを指名し続けなさいッ♥

はあっ、はあッ、ほかの女じゃ味わえない快樂ッ、

んううッ！ んううッ、アタシのおまんこで教えてあげるうッ♥

んうう、ンッ、はあ、んくん、ンッッ！

はあ、はあッ、んんくん、んう、んッ♥

はあっ、はあッ、んん、ンッ、さあ、アンタも指使って、ん、アタシをイカせてみなさいッ♥ ん

ううッ、はあっ、はあッ、ん、んうッ♥

あああッ！

そうそう……ッ、んう、そのくらい、強く……んううッ！

ああッ、そろそろッ、んう、またイクわ……ッッ！

ああんうう、ンッ、はあ、はあ……ッ！

イツちゃう……ッ！

んううッ、ああッ、イク……ッ！

アンタも中出ししなさいッ♥ 上司じゃないッ、女として、はあっ、アアッ！

アンタの子種欲しがってあげるッ♥

出してッ♥ 中出ししてッ♥  
んううッ、アアッ、イクッ♥  
いぐう~~~~~ッ♥

(同時絶頂(中出し2回目))

ああああああッ♥  
アッ、アアッ！ はあっ、んく、ん……ッ！  
こんな雑魚イキするなんて……ッ、んう、アタシはアタシに驚くわ……ッ！

んくうッ、はあっ、んく、んう……ッ。  
はあ、アッ、ああ……ッ！

んう……ッ、はあ、ん、んう……ッ。  
アンタ……最高じゃないの……♥

(未優からキス)

んむうう、ちゅ、んん、ちゅ、ッ、んぷ……チュッ、チュッ。  
チュッ……んん、ちゅうううう……。

ぷはあ……。  
ふうう、ん……。

ねえ……セフレにならない？  
恋人でもいいけど……まだアンタを将来の夫にできる自信ないし……まずは体の関係から進めて……たくさんエッチしましょ♥

アンタとやれるならデリやる必要ないし……それに、アンタも四六時中やれる女が近くに居た方がいいでしょ？ もうお金はいらない。アタシもタダでやれる方が燃える♥

ベッド行しましょ？  
今日は泊まりで……アンタを可愛がってあげる。  
上司としてアタシのことを嫌いでも……ベッドでは好きになってもらおうわよ♥

